

平成27年2月27日

嬉野市議会議長 田口 好秋 様

## 産業建設常任委員会報告書

産業建設常任委員会  
委員長 辻 浩一

平成26年12月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則107条の規定により報告する。

付託事件名 市内の観光施設について

### 「調査理由」

平成27年2月20日 市内公共施設（観光関連）の現状と改善点を把握するため。

### 調査箇所

虚空蔵山展望所跡地（塩田）

唐泉山トイレ

広川原キャンプ場

一般県道岩屋川内嬉野温泉停車場線キャンプ場・平重間

滝の観音（西吉田）

### 現状

「虚空蔵山」は塩田町上久間に位置し、信仰の山として頂上には虚空蔵菩薩を中心としての祠があり、現在も地元氏子により管理がなされている。平成4年に展望台が建設されたが、木材での建設であったために、老朽化進み平成20年解体され現在は基礎部分だけが残っている状態である。

「唐泉山トイレ」は市道宮の元山口線と美野唐泉山線を結ぶ林道に位置し建屋、便器ともまだ良好な状態を保っていた。

「広川原キャンプ場」は年々整備が進展し、現在はバンガローのUD化による建て替えが行われていた。26年度で5人用、10人用、30人用バンガローが完成し、全てが終了

する。

「一般県道岩屋川内嬉野温泉停車場線」(S T線) キャンプ場平重間において大村湾を一望できる箇所があり、ビュースポットとして公表できないか視察した。

「滝の観音」は西川内地区にあり、古くから霊場、滝行の場所として信仰を集めていた。しかし、近年滝周辺の断崖が崩落をはじめ危険な状態にあり、立ち入り禁止となっている。

## 委員会の意見

「虚空蔵山展望台」については、360度見渡せる好位置にあり、雲仙普賢岳・不動山虚空蔵山・有明海・天山など一望でき、観光スポットとして十分活かせる場所ではないかと考える。民地であると言う問題もあるが、樹木などを整理しながら、前回より面積は小さくても高さを考慮した鉄骨造りでの展望台を地元と協議しながら再建してはどうかと検討を要望する。

「唐泉山トイレ」は、今回清掃直後であったために状態は良好であった。しかし清掃は年間数回ということで、枯葉が侵入し堆積している期間が多いと考えられる。明かりとりのために空間があると思うが、今後の管理を考慮すれば空間をなくし、太陽光発電・LED照明などを利用した照明器具を設置し、周囲の樹木の伐採も合わせた環境整備をすべきと考える。

「広川原キャンプ場」は、整備進むにつれて入場者の数が一昨年 3,286 人・昨年 3,551 人と過去最高となっている。今後も環境を維持し、入場者増に向けてPRが重要と考える。

「一般県道岩屋川内嬉野温泉停車場線」については、近年SNSでの発信が見受けられた。国有地を借用した県道で在り、独自の判断は出来ないと思うが、案内看板と離合できるスペースだけでも確保できれば新たな観光スポットの創出になるのではと考える。また、将来的には展望台も念頭に検討されたい。

「滝の観音」は断崖崩落という危険な状態ではあるが、現在も観音堂や樹齢200年の杉、大きな藤や奇岩など、魅力的な部分が多い。危険対策をとると言う膨大な費用が必要になると想像できる。短期での整備は難しいと思うが、長期的なビジョンの中で整備に合致するような補助金など活用し観光スポットの創出に努力を求める。